**登別市市民自治推進委員会議事録**

（敬称略）

◆ 開催日時：平成２９年１２月１１日（月）１８：３０～１９：５０

◆ 開催場所：登別市民会館　中ホール

◆ 出席委員：２１名（雨洗委員、今委員、千葉委員、田渕委員、岩浅委員、江口委員、丸委員、遠藤委員、鈴木委員、吉田委員、近井委員、山下委員、川村委員、磯田委員、佐藤委員、安宅委員、合田委員、仲川委員、山田委員、中原委員、川島委員）

◆ 欠席委員：１９名（鎌田委員、川島委員、和泉委員、久保田委員、髙橋委員、小川委員、安達委員、川田委員、長部委員、荒川委員、谷﨑委員、中川委員、西尾委員、田中委員、稲葉委員、工藤委員、松本委員、成田委員、渡部委員）

◆ 議　　題：（１）第３期基本計画・第１次実施計画の進捗状況等について

　　　　　　（２）市役所本庁舎の建替えについて

**【委員長】**

おばんでございます。年の瀬の足元の悪いなか、お集まりいただいてありがとうございます。１点目は、第３期基本計画の進捗状況をある程度把握していただくと同時に、来年以降、各部会でどのようなことを進めていけるのかを練り直していただければと思っておりますので、そちらの説明をしていただきます。

もう１点は、皆さんご存じのように、市庁舎の建替えも待ったなしの状況に来ているようですので、どのような形に持って行ったら良いのか、市民の意見を広く聞く場にしたいと思います。少し時間がかかるかもしれませんが、後世につながる大事な部分ですので、皆さんの率直な意見をいただきたいと思います。

それでは、「登別市総合計画第３期基本計画　目標への接近度を図る指標の進捗状況」について、説明をお願いいたします。

**【議題**（**１）第３期基本計画・第１次実施計画の進捗状況等について】**

**＜企画調整G総括主幹＞**

こんばんは。登別市総務部企画調整グループの井上と申します。私からは、第

３期基本計画の初年度にあたる平成28年度１年間の実績と、目標年度であります平成37年度数値との接近度を図る進捗状況について、概要を説明させていただきます。

始めに、第３期基本計画策定に至る市民検討委員会のあゆみについて、簡単に

紹介させていただきます。

総合計画第３期基本計画は、団体等からの推薦を受けた33名、一般公募８名

の合計41名に参加いただき、平成26年３月に第１回市民検討委員会の開催、５月に基本構想の章立てに基づいて６つの部会を設置、平成27年８月に皆さまから提言書の提出をいただきました。その期間、合計で84回、述べ826名の方にご参加いただき、熱のこもった議論が行われました。庁内におきましても、各部会で合計67回の会議が進められ、平成28年３月に第３期基本計画が策定されました。

第３期基本計画は、各施策に指標を設定し、目標値を定めて達成度を参酌する

とともに、まちづくり意識調査などで市民の意見をお聞きして、政策、施策の充足度を図り、評価を行うこととしております。指標はアウトプットでではなく、可能な限りアウトカムを重視して設定するなど、事業実施の評価が客観的にわかりやすくなるように努めています。

効果の検証につきましては、達成、進展、継続、遅延、評価なしという５つの基準を定めました。平成28年度の実績値が目標値である平成37年を上回っているものを達成、実績値が37年度の目標値を下回ってはいるが、基準値を上回っているものを進展、同じくらいのものを継続、基準値よりも下回っているものを遅延としております。実績値がないものは、国の統計調査の公表を待たないと数字が出ないものや、平成31年のまちづくり意識調査で調査して評価するものとなっています。

進捗状況ですが、縦軸を１～６章、横軸を評価の基準としており、指標数合計

108となっています。達成が22項目で20.4％。進展が36項目で33.3％で、２つを合わせると58項目、割合で言うと全体の53.7％は取組が順調に進んでいる状況です。ただ、継続が21項目で19.4％。遅延が14項目で13.0％となっておりますので、目標の達成に向けてさらなる取組の強化、充実を図っていく必要があると考えております。

　第１章から簡単にご紹介させていただきます。第１章「やさしさと共生するまち」の進捗状況について、達成が、若い世代の健康診査の受診数など６項目、進展が健康診査受診率、乳がん検診の受診率など９項目、遅延は大腸がん検診受診率など５項目となっております。

小地域ネットワークの参加町内会数は進展となりましたが、平成26年度の基準値が40町内会、平成37年度の目標値が95町内会、平成28年度の実績値が44町内会でした。

この事業は、町内会が主体となり、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、市と連携して、高齢者や障がい者などの支援を必要とする方々の見守り、支え合いをする活動で、全市展開を目指して取り組んでおります。平成28年度は４町内会増加しておりますが、半分にも満たない状況ですので、皆さまのお住まいの町内会が参加していなかったら、是非ご協力いただきたいと考えております。

　第２章「自然とともに暮らすまち」ですが、進展が９項目、遅延が事業系ごみの年間排出量など２項目となりました。

進展となった不法投棄件数は、平成26年度の基準値が52件、37年度の目標値が０件のところ、平成28年度の実績値は26件となっております。この事業は、衛生団体連合会、連合町内会、関係機関、市が連携して、街頭啓発、春と秋のクリーン作戦、不法投棄防止のパトロールなどを実施して美化活動に努めているものです。件数は52件から26件と半減していますが、まだ26件の不法投棄が確認されていますので、綺麗なまちを作るために今後も皆さんのご協力をお願いしたいと考えております。

　第３章「大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち」ですが、達成が起業件数など３項目、進展が宿泊件数など４項目、遅延が１項目でした。

進展となった観光入込客数は、平成26年度の基準値が353万６千人、37年度の目標値が446万人のところ、平成28年度の実績値は385万２千人になりました。31万６千人ほど基準値より増加している状況です。

市では、国際コンベンション協会などと連携して集客を促進するとともに、多様化する旅行形態や観光ニーズに対応した魅力ある観光地を目指して、より長く市内に滞在していただける滞在型観光を推進していきます。

　例えば、来年は登別温泉開湯160周年という節目の年になります。また、隣の白老町では、３年後の2020年４月、年間100万人の来場を目標として設定しております民族共生象徴空間が開設される予定となっております。今後とも、多くの観光客に訪れていただける魅力的な観光地となるよう取り組んで参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

　次に、第４章「調和の中でふるさとを演出するまち」ですが、進展が４項目、継続が８項目、遅延が１項目になりました。

遅延となった公共施設等への草花、樹木の植栽実施町内会数は、平成26年度の基準値が58町内会、37年度の目標値は67町内会で、95町内会の７割程度を見ています。28年度の実績値は57町内会で、１つ減った状況です。

遅延の理由としましては、町内会の人手不足などによって、実施町内会が減少している状況もあるようです。担当としては今後、未参加の町内会などに事業の趣旨を説明し、参加していただけるよう努めていきますので、皆さまのご理解とご協力をお願いしたいと考えております。

　次に第５章「豊かな個性と人間性を育むまち」ですが、達成が３項目、進展が６項目、遅延が３項目になりました。

進展となった学校支援地域本部におけるボランティア協力者数は、平成26年度の基準値が43人、目標値が150人、実績値が125人で、82人増加しております。この事業は、学校・家庭・地域が連携して学校をサポートすることで、地域教育力の向上を図ることに目的に、各中学校区で地域の特色を生かした学校支援事業を実施しておりますので、お住まいの地域でご協力いただければと考えております。

　次に第６章「担い合うまちづくり」ですが、達成が４項目、進展が４項目、遅延が２項目になりました。

達成となった市民自治推進委員会の開催回数は、平成26年度の基準値はありませんでしたが、37年度の目標値が36回のところ、平成28年度の実績値は53回会議を開催しております。

１章から６章まで駆け足で説明しましたが、第３期基本計画の初年度となる28年度１年間の進捗状況です。達成となった項目が108項目中22項目ありましたが、あくまでも目標は平成37年度です。継続して目標を達成し続けられるよう取り組みを推進する必要があると考えておりますし、達成に至っていない項目につきましても、37年度の達成に向けて取り組みを強化する必要があります。

そのためには、市が取り組みに向けて努力することはもちろんですが、市民自治推進委員会の委員の皆さまや、市民の皆さまのご理解とご協力をいただかなければ、目標の達成が実現し得ないものもたくさんあります。今後とも、まちづくりの推進にあたりまして、ご理解とご協力をお願いしたいと考えております。

**＜委員長＞**

　ありがとうございます。進展、達成していない部分は、市民との協働を進めていきながらどのように進めていくのか。また、進展、達成していても、目標の37年度までに程遠い達成率のものもあります。目標値の設定が適切かも含めて部会で取り組んでいただき、できれば協働で目標を達成できるよう皆さまのお力添えをいただきたいと思います。

　それでは次のテーマ、公共施設及び市役所本庁舎に関する考え方について、説明をしていただきたいと思います。

**【議題**（**２）市役所本庁舎の建て替えについて　】**

**＜総務部次長＞**

　皆さん、こんばんは。総務部次長の千葉と申します。それでは簡単に、公共施設の整備に向けた優先順位の検討と、市役所本庁舎の建替え検討の基本的な考え方を説明させていただきます。

　行政が考えている主な課題ということで、本日のテーマは公共施設の老朽化と耐震化になります。1970年代に公共施設が多く建てられていますが、老朽化が進んでいる状況です。一般的に、鉄筋コンクリートの建物は寿命が50年くらいと言われていますが、軒並み50年越えていて、市役所本庁舎も56年経過している状況です。

　登別市は大小含めて230くらいの公共施設がありますが、全て整備することにはなりませんので、今取り組むべき施設はどこか抽出をさせていただきました。お金が多くかかる施設、老朽化が進んでいる施設、耐震性能があるか、市民や観光客の皆さんへの影響が大きい施設、市民や各種団体から要望が多い施設の５つのポイントで選んだのが10施設です。この10施設について、簡単に説明をさせていただきます。

　最初の市役所は飛ばさせていただきます。

次が、登別温泉地区の公共施設再編です。こちらの施設は温泉の上り口にある登別温泉ふれあいセンターと言い、民間の施設ですが、中に登別温泉支所が入っております。築60年で老朽化が進んでおります。この施設の近くに温泉公民館という施設があるのですが、こちらも老朽化が進んでおり、登別温泉地区の公共施設の在り方は検討していかなくてはいけないと考えております。

　続いて、クリンクルセンターの建替えについてです。こちらは皆さんと春に協議させていただき、西胆振広域連合と一緒にやるのではなくて、登別市単独で延命していこうとなりました。ただ、延命しても平成41年までですから、その後さらに延命するのか、建替えをするのか判断を迫られることになります。

　続きまして、民間による認定こども園の整備にかかる支援ということで、こちらの写真は栄町保育所ですが、かなり老朽化が進んでいます。今現在、千代の台団地の工事をしていますが、併せて民間の認定こども園の設置促進を図るという考えでいます。こちらも市が建設費の一部を援助することになります。

　次は、JR登別駅のエレベータ設置に対する費用負担です。登別駅は外国人や観光客がたくさんいらっしゃっいますが、バリアフリー化がされていなく、重い荷物を持って階段を上り下りしないとホームに行けません。高齢者や障がいをお持ちの方にもご不便をかけている施設になっています。

　続きまして、登別駅前の観光客受け入れ拠点施設です。JR登別駅の近辺は、ピーク時には駅舎に人が入り切らずにあふれてしまう状況も発生しております。例えば、観光案内、チケット販売、手荷物の一時預かりなど、駅を補完する施設が必要ではないかと考えています。

　続いて、婦人センターの改修です。中に登別支所、図書館の配本所、軽スポーツができる施設もございますが、老朽化しており、耐震性能がなく、エレベータもない施設になっております。

　続いて、学校給食センターです。築51年ということで老朽化が進んでいます。子どもたちに安心、安全な給食を提供するためにも、ゆくゆくは建て替えをしなければならないと考えております。

　続いて図書館です。図書館はアーニスの２階に分館があって、移動図書館車のこぐま号というバスを今年度更新しようと思っています。ただ、それでも本館自体は手狭ですし、築45年ということで古く、エレベータもない状況になっております。

　最後に消防本部本署の建替えです。市役所と同時期に建っていますので築56年です。消防は、災害の発生時にいち早く行動を開始しますが、津波浸水予想区域内にあるとか、耐震性がないとか、いろいろな問題があると考えております。

　10個の施設を抽出させていただきましたが、この中から最優先する施設を考えていきます。今までは、クリンクルセンターのように市民サービスにつながる事業や、子どもたちが使う施設、学校の耐震化などを最優先してやっており、なかなか新規事業に着手できないところがございます。

今の考えとしては、市民生活や活性化に大きく関わり、市民の安全、安心な暮らしを守る施設は整備していかなくてはならないと思っています。あとは、国の補助経費などを使って最小の経費にしていこうということで、未来の登別に必要な施設を残すべきだろうと考えています。

このような考え方のもと、市役所本庁舎の建替え、JR登別駅のエレベータ設置、消防本部本署の建替えの３つを最優先していくべきだろうと考えています。

そこで、今日のテーマにもあります市役所本庁舎のお話になります。先ほどお話ししとおり、築56年建っていて、暗いですし、中が迷路のようになっていてわかりにくいです。最近工事をして、正面だけ見るときれいになったのですが、窓が開かないとか、雨漏りするとか、最低限の修繕を行ったものです。それだけ老朽化が進んでいる状況にあります。

こちらの写真は熊本県の水戸市役所なのですが、28年４月の熊本地震で完全に潰れてしまい、市役所が全く機能しなかったという事例が発生しました。そこで、国で今年度から庁舎の建設に当たって新たな財源措置を設けています。仮に市役所建てるのに40億円かかるとします。今までの制度ですと、10億円頭金を用意して、残りの30億円は借金をして庁舎を建てるという仕組みしかありませんでしたが、新たな仕組みは頭金が４億円で済みます。残り36億円は借金になりますが、国から９億円くらい補てんしていただけることとなっており、財政的に厳しい本市にとってはこの制度は最大のチャンスだと考えております。

市役所の問題点として、福祉部門や上下水道部門が同じ建物になく、１度で手続きが済まないということがあります。１番大きい問題として、耐震性がないので、市民の皆さまからも大丈夫かというお話もいただいております。建替えのために28年から基金を積み立てているのですが、なかなか貯まらない状況であります。

皆さんでお話していただく中で、まずは目標設定が必要だろうと思っており、考え方の共有が大切だろうと思います。通常のプロセスを言いますと、市役所が建つのに早くても６年程度はかかってしまいます。ただ、国の新たな制度が、平成32年度までに建設を終えなければいけないという非常に厳しい内容ですので、今、国に制度の延長を要望しています。これは登別市だけではなく、全国の市町村から同じ声が挙がっています。

ただ、制度の延長がもしされたとして、それが決まってから考えてはまた間に合わないので、この制度を活用することを前提に検討を始めようという考えでおります。ただ、すごくお金がかかるので、他の事業スケジュールに影響を及ぼす可能性があるのは否めないと思っております。

もう１つは建替えエリアです。今まで市役所は市街地の中心に位置してきました。古くはJRより海側が多く栄えていて、そこを市役所が転々としていたのですが、昭和30年代に市街地がJRより山側に移っていったということもあり、昭和36年に今の位置に移転したという経緯を辿っています。

法的にも、庁舎の位置は住民の利用に最も便利であるように、交通の事情、他の官公署への配慮、学校、商工会議所、農業協同組合の事務所が近辺に位置することが謳われています。また、平成27年の地区懇談会で、登別市の中心エリアはどこかいう問いをしたところ、ほとんどの方が幌別地区だと考えていた経緯もあります。このことから、市役所の建替えエリアは、幌別地区が適地であると考えています。

今日は皆さんに、我々は市役所本庁舎の建替えが必要で、幌別地区が適地であると考えていますが、これについて論議していただきたいです。また、どのような新庁舎が良いか今後の参考にさせていただきたいと思いますので、ざっくばらんに意見を言っていただければと思います。

**＜事務局＞**

続きまして、グループワークに入りたいと思います。地区懇談会で、市内10地区で同じようにグループワークを開催して、地域の皆さんの意見をいただいて参りました。今日は市民自治推進委員会の皆さんの意見も伺いたく、グループワークを開催する形になっております。市の職員が進行と記録係で対応いたしますので、皆さんは発言をしていただければと思います。

市役所本庁舎建替えに関して３つのお題があります。１つ目、市役所の建替えが必要か不必要か。２つ目、エリアはどこが良いか。市では、建替えは必要、エリアは幌別地区ということで方針を考えておりますが、皆さまはどのように考えているのか確認したいと思いますので、グループでお話をした結果を模造紙にまとめていただければと思います。３つ目は、どのような新庁舎が良いですかというお題になっております。ハード的なことでも良いですし、こういう雰囲気が良いとかソフト的なことでも良いので、自由に意見を出していただければと思います。

　時間がお題１、お題２で５分ずつ、お題３で10分の大体20分を見ております。最後に皆さんの結果を発表していただきたいと思いますので、発表に３分とりたいと思います。発表は委員からどなたか決めていただければと思います。

**【グループワーク発表】**

**＜Aグループ＞**

　１番の市役所建替えですが、防災の観点、建物の老朽化から４名全員で必要だということになりました。

　２番の場所は、４名全員が幌別地区で良いのではないかということになりました。理由として、市の中心に位置していることと、交通の利便性を考えたら最適ではないかということです。

　３番目は、市民が自由に使えるロビーなど、自由に出入りできる空間を作ってもらえれば良いなということと、カフェの併設の意見もあり、新しくなった札幌市の白石区役所が良い例ではないかという話がありました。用事が無くても行きたくなる場所や、親子で楽しめる遊園地、保育所、銀行、食堂、子どもが遊べる施設があると良いです。市民や観光客が気軽に入れる道の駅もあったら良いです。振興局のように下が商業施設になっていて、市役所も入っている施設も良いのではないかという話もありました。

**＜Bグループ＞**

　１の市役所建替えですが、全員必要ということと、２番目のエリアも、今のところに限らず幌別地区ということでした。

　３番目ですが、防災機能として一時避難所になったり、高台であったり、災害に強い庁舎を作るということが意見として出ました。商工会議所、農業協同組合とかいろいろな施設が入る複合的な庁舎や、道の駅、食堂、登別ブランドが入る施設、図書館、保育所の併設、協働のまちづくりを推進していますので、市民活動ができる庁舎も良いと思います。

　使いやすい庁舎として、バリアフリー、広い空間、市民の行きたくなるような場所、市民が集える場所、憩いの場所になる庁舎も良いのではないか。その他の意見として、室蘭と一緒に庁舎を作ってはどうかという意見が出ました。

**＜Cグループ＞**

　３名全員必要ということで、耐震性がない、みすぼらしいというのが主な理由です。

場所は、幌別エリアが全員一致で、コンパクトシティを目指す。あとは、津波対策として陸上競技場付近。現在の場所も可ということですが、仮庁舎を造るよりも新しい場所に建てて、より良い市役所にした方が良いのではないかということです。

　どのような庁舎が良いですかというところも大体皆さんと一緒ですが、今後の人口減を考えて、身の丈に合ったコンパクトで機能的な市役所が良いのではないかということです。今は、消防、自衛隊、市役所が津波に弱い場所にあります。400年前に駒ヶ岳の爆発で津波に襲われたということを市の職員に教えてもらいました。

　また、消防、図書館、商工会議所、子育て施設という公的な物も一緒にしたらどうかと思います。北広島の本庁舎は40億かけた巨大な市役所ですが、あの半分くらいの予算で、なるべくコンパクトで機能的なものができれば良いのではないかと考えていました。

**＜Dグループ＞**

　１番目の本庁舎建替えは、６名全員が必要ということで、特に今、補助金があるのがチャンスですし、庁舎は市の顔ですから、防災の中核になるように建替えが必要ではないかという話になりました。

　２番目の場所も全員一致で、幌別エリアが良いのではないかということになりました。理由は登別市の中心部にあって、中核になる部分が幌別だということです。

　３つ目は大まかに２つに分けさせてもらいました。１つは、防災機能が大事ということで、太陽光などの自然エネルギーを活用した防災機能を併用した市役所、ヘリポートがあって災害時に対応できる市役所が良いと思います。

　もう１つは他のグループからも出ていましたが、図書館、しんた２１のような福祉機能や、市民が気軽に来ることができる民間の商業施設も複合することも考えていければ良いかなということで、是非、登別市を代表するランドマークになる市役所をお願いしたいです。

**＜事務局＞**

　皆さま、お疲れさまでした。本庁舎の建替え、新庁舎のエリアにつきましても、４グループ全て市の方針と同じになりましたので、市民自治推進委員会の皆さんの結果も踏まえ、これから市庁舎の関係を進めていきたいと思います。

　また、皆さんから話題３で出していただきました様々なアイディアを担当部署に引き継ぎますので、参考にさせていただきながら、市役所本庁舎建替えの基本構想に向けて進んでいきたいと思います。

**＜委員長＞**

お金がないから残りの229施設は建替えられなくなるかもしれないという現状の中でも必要なのだろうということで、どのように進めていけば良いのか市で検討していただければと思います。ある程度内容が煮詰まったら自治推進委員会で報告を受けると思うので、その時にはまた皆さんからご意見をいただければと思います。

　以上で、第２回の市民自治推進委員会を終了させていただきます。遅くまでありがとうございました。